

# 上鳥羽だより



令和8年1月30日  
京都市立上鳥羽小学校  
校長 高木 俊輔  
TEL 075-691-0393

2 月



## 2月行事予定

日	曜	行 事
1	日	
2	月	委員会 部活動A（最終） SC 薬物乱用防止教室 6年生 まなび
3	火	代表委員会 古紙回収
4	水	なかまの日 音楽鑑賞教室 5年 持久走記録会予備日
5	木	社会見学 3年 小さな巨匠展（～8日）
6	金	小さな巨匠展見学 4くみ フッ化物洗口 まなび
7	土	
8	日	京キッズRUN
9	月	クラブ見学 部活動B SC まなび
10	火	たてわり（送る会準備）銀行口座振替日 保健の日
11	水	建国記念の日
12	木	
13	金	フッ化物洗口 まなび
14	土	
15	日	
16	月	環境の日 学校安全の日 SC まなび 部活動B振替
17	火	朝会 たてわり遊び
18	水	4くみ南お別れ会 5時間授業完全下校
19	木	参観学級懇談会 5時間授業完全下校 食を考える日
20	金	フッ化物洗口 まなび
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	5年わくわく WORKLAND SC
25	水	科学センター学習 4くみ 2525 えがおの日
26	木	たてわり掃除 5時間授業完全下校
27	金	フッ化物洗口 5時間授業完全下校
28	土	

## 持久走記録会 ご声援ありがとうございました！！

持久走記録会を1月29日（木）に行いました。子どもたちは、自分の目標に向かって一生懸命に取り組むことができました。その姿は輝いていました。保護者の皆様、温かいご声援ありがとうございました。



## 放課後の過ごし方の確認を！

2月3日は「節分」、そして、2月4日は「立春」です。暦の上ではもう春になるのですが、まだまだ寒い日が続きます。また、日が暮れるのが早いです。学校では、下校後の過ごし方について、次の内容を指導しています。ご家庭でもお子さんと確認してください。よろしくお願いします。

- ・「いつ帰るか」「どこで」「だれと」遊ぶかをうちの方に伝えてから、遊びに行く。
  - ・5時までに家に着くように遊びをやめて帰る。
  - ・子どもたちだけで校区外に行かない。
  - ・公園で遊ぶ時は、ルール・マナーを守る。
- （ゴミのポイ捨てをしない等、みんなが過ごしやすいようにする）

※2月16日（月）に部活動Bを行います。中止になった分の振替です。お知りおきください。  
※3月12日（木）の3・4時間目に6年生を送る会を行います。6年生の保護者のみ参観可能とさせていただきます。  
1～5年生の保護者様は、前日の3月11日（水）の午前中のリハーサルを参観可能とさせていただきます。（体育館のキャパシティによるものです。ご了承ください。）  
1年生…9：00 2年生…9：20 4くみ…9：40  
3年生…10：00 4年生…10：40 5年生…11：00  
6年生…11：30





## 1年生 聖護院大根

1月19日（月）聖護院大根の収穫をしました。農家の方に抜き方を教えていただき、まんまとした大きな大きな大根を抜くことができました。20日（火）に、調理していただき給食の時間に食べました。「あまくて、やわらかい!」「苦みがない!」との声が聞こえてきました。



## 各学年預り金について

2月10日（火）は、2月分の振替日です。口座に必要な金額を入金していただきますよう、お願い致します。

1年	給食費	4700円	合計	4700円
2年	給食費	4700円	合計	4700円
3年	給食費	4700円	合計	4700円
4年	給食費	4700円	合計	4700円
5年	給食費	4700円	合計	4700円
6年	給食費	4700円	合計	4700円

★4くみは、学年によって費用が違いますので、4くみのおたよりでご確認ください。  
★学級閉鎖による給食費の減額については、該当クラスに別途お知らせします。

## 避難訓練

1月15日（木）に避難訓練を行いました。学校では毎年この時期に阪神淡路大震災の教訓を風化させないために地震を想定した避難訓練を行っています。阪神淡路大震災から31年がたちました。当時を経験した大人は記憶が強烈に残っていると思います。しかし、子どもたちは経験していません。毎年この時期になると、その教訓をどのようにして子どもたちに伝えるかを考えさせられます。



## 子どもを共に育む京都市民憲章

京都市では、平成19年より2月5日を「子どもを共に育む京都市民憲章」の日と制定しました。この機会に、子どもたちのために大人としてどう行動すべきかを考え、下記の行動指針を参考に、できることから実践していきましょう。

### 子どもを共に育む京都市民憲章

- わたくしたちは、
- 一、子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
  - 一、子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
  - 一、子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
  - 一、子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
  - 一、子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
  - 一、子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

